



電動スクリーン エリート ホーム2 (Home 2) シリーズ

Ver.1.6
ユーザーガイド



重要：安全に使用するための注意事項

ご使用前に、このユーザーガイドをご一読ください。正しく使用することで長くお使いいただけます。

警告 スクリーンの出荷時、スクリーンは最大の長さに調節されています。ローラーには余分なブラックマスク部分がありません。限度を超えて調整しようとすると、モーターにダメージを与え、製品の保証が無効となるため、ご注意ください。製品に対する非認定の改造または修理(配線のための電源コードの切断は除く)は禁止されており、メーカーの保証が受けられなくなります。製品に関するご質問は、エリートスクリーンジャパンまでお問い合わせください。

- 必要な場合に備えて、本書を保存してください。
- 製品の損傷を避けるため、メーカーが指定した付属品を使用してください。
- 運搬の際は、注意して取り扱ってください。
- 装置に電源を供給する電源コンセントは、できるだけ近い場所を選んでください。
- 起伏や段差のある場所、傾いた場所に製品を置かないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。また電源コードは、人がつまずいたりしないように、適切に配線してください。
- 感電や火災を避けるため、電源コードに過剰な電流を流さないでください。
- 製品の内部には、お客様で整備や修理をすべき部品はありません。指定された技術者以外はカバーを外さないでください。
- 電源は連続的に供給されるようにしてください。
- 延長コードを使用する必要がある場合は、正しい規格(日本国内は 100V)のものをご使用ください。
- 手が濡れている状態や、体の一部が水に触れた状態で電源コードを触らないでください。
- 強風・豪雨や雷などの極端な悪天候が予想される場合にはコンセントを抜いてください。
- 直射日光・雨・湿気が当たらないようにしてください。
- 製品が加熱されないよう、火の近くや高温となる場所を避けて設置してください。
- 製品を移動させる場合やメンテナンスの際には、電源コードを抜いてください。
- 製品を長期間使用しない場合、他の家電製品と同様、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ケガや感電の可能性があるため、製品が明らかに損傷している場合や部品が故障している場合は、製品の使用を中止してください。

注意：

本装置は、テストの結果、米国 FCC 規定の第 15 条に準拠した、クラス B デジタルデバイスの制限を満たしていることが確認されています。

クラス B の制限は、装置を住宅地域に設置して使用した場合に、有害な電波障害が発生しないことを目的に定められています。本装置は無線通信周波数の電波を生成し放出するため、使用説明書に沿わない設置方法や使い方をすると、無線通信の障害になる可能性があります。

なお、特定の設置方法によって、電波障害が発生しないという保証はありません。装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を発生させるかどうかは、装置の電源をオン・オフすることで判定できるので、以下の方法をお試しください。

- ✓ 影響を受けている可能性のある受信アンテナの場所や方向を調整する。
- ✓ 本装置と受信装置の距離を離す。
- ✓ 受信装置が使用しているコンセントと別のコンセントを使用する。

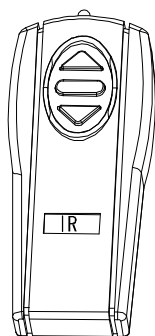
設置の準備

1. スクリーンは、注意して開梱してください。
2. スクリーンは、清潔で平らな場所に設置してください。
3. スクリーンの表面が汚れないよう、ホコリ、筆記用具、液体などに触れないようにしてください。

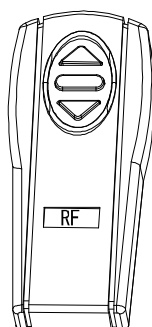
注意

スクリーンは確実に固定する必要があります。間違ってスクリーンに力を加えてしまった場合や振動で、ケースの取り付けが緩んだり落ちたりしないように、取り付ける場所に合った適切な強さでネジを確実に締めてください。

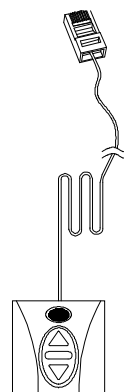
付属品



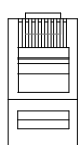
①IR



②RF

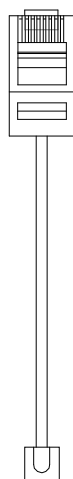


③壁用スイッチボックス

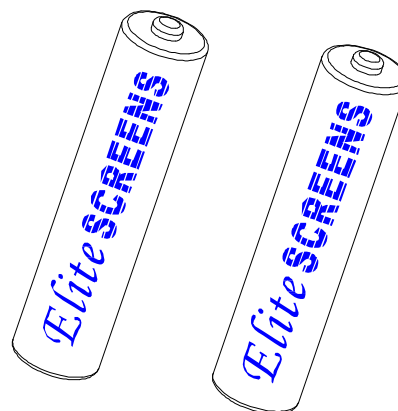


赤 12V | 緑 0V

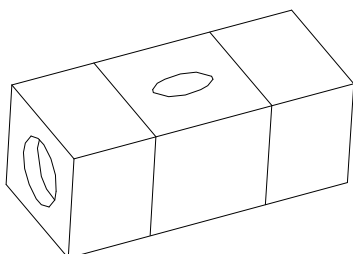
④5/12Vトリガー入力
ケーブル



⑤ 延長用赤外線(IR)
レーザー(※)



⑥バッテリー

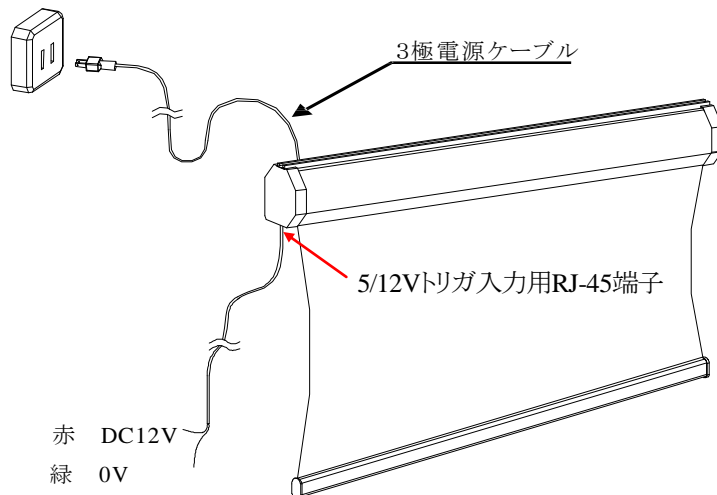


⑦ 水準器

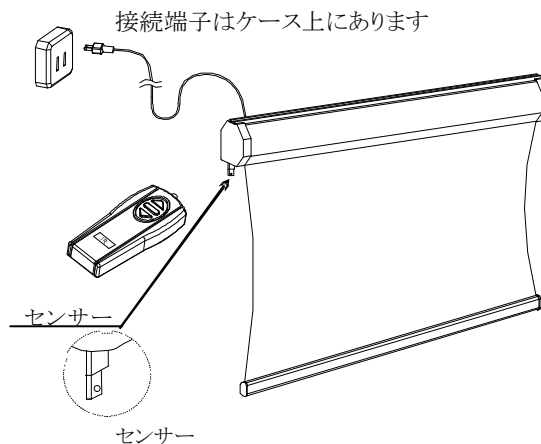
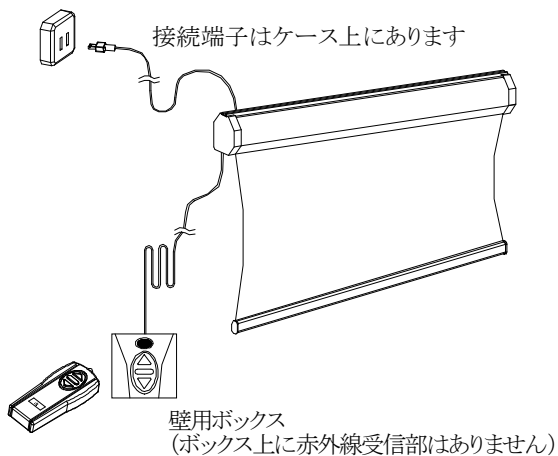
※ 赤外線 (IR) リモコンは、本体受信部またはこの延長レーザーに向けて使用ください

制御システム

1. 5/12Vトリガ: 5/12Vトリガ入力を使用すると、スクリーンをプロジェクターの電源に連動して昇降させることができます。スクリーンはプロジェクターの電源がオンとなったときに降下し、プロジェクター電源がオフとなったときに上昇します。5/12Vトリガ入力のためのケーブルはプロジェクター装置に付属されている場合と別売の場合があります。5/12Vトリガ入力をプロジェクターに接続してもうまく作動しない場合は、9V電池を使用し、赤(+)と緑(-)のケーブルを接続してテストしてください。



2. 壁用スイッチボックスまたは延長用赤外線 (IR) レシーバー: ケースには、スクリーンの昇降操作のために、有線の壁用スイッチボックスか延長用赤外線 (IR) レシーバーのどちらかを接続できます。壁用スイッチボックスを使用すると、直接スクリーンの昇降操作ができます。延長用赤外線 (IR) レシーバーは、ケースの最下部から突き出た形で取り付けます。これにより、スクリーンを垂れ壁などの陰に隠れた位置に設置する場合でも、目立たない位置でリモコンからのIR(赤外線)信号を受信することができます。



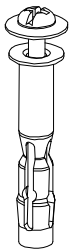
設置に関する重要な注意事項

- 延長コードを使用する場合、正しい規格(日本国内は100V)のものをご使用ください。
- メーカーが指定した付属品を使用してください。指定品以外を使用して発生した火事・感電やケガについての責任は負いかねます。
- スクリーンは水平に取り付けてください。取り付け方法が不明な場合、インストーラー業者など、専門の業者に相談することをお勧めします。

設置方法

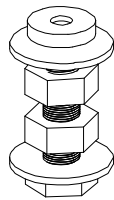
シネテンション2シリーズは、壁掛けでも天吊りでも設置が可能なように設計されています。設置に必要な部品はすべて同梱されていますが、安全に設置するためには専門の業者に施工を依頼することをお勧めします。延長L字ブラケットは、壁掛けまたは天吊りに木ネジやトラスの位置に応じて簡単に調節が可能なように、スライドができる構造になっています。

取り付け用部品 — 設置を開始する前に、以下の部品が揃っていることを確認してください。



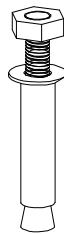
A

2個 - 木ネジ
2個 - 中空アンカー



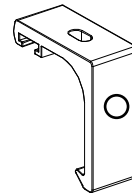
B

2個 - ボルト



C

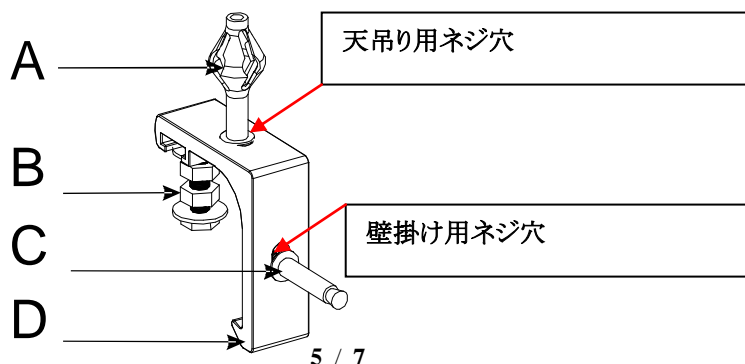
2個 - コンクリートネジ
2個 - コンクリートアンカー (120インチ以上のモデルでは3個)



D

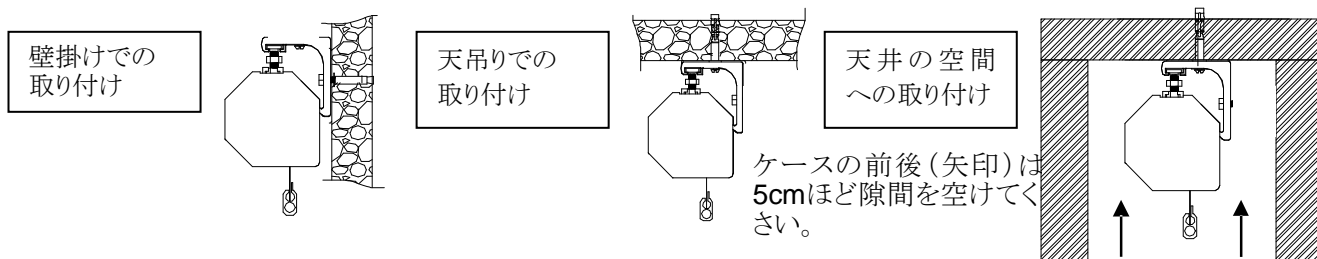
2個 - L字ブラケット

1. ボルト**(B)**をシネテンション2のケース上部にある**スライド用の溝**へ差し込み、固定します。
2. 壁または天井のスクリーンを設置する場所に印を付け、ドリルで穴を開けます。取り付ける場所に合った適切なネジを使用して、ドリル穴に**L字ブラケット**と**ボルト**を固定してください。
 - コンクリートアンカーとネジ**(C)**はコンクリート/れんが細工の壁/天井に使用します。
 - プラスチック中空アンカー**(A)**は石膏ボードに使用します。
 - 木ネジ**(A)**は、120インチ以下のスクリーンを壁掛け・天吊りで間柱に取り付ける場合に使用します。
 - 120インチを超えるサイズのスクリーンを壁掛け・天吊りで取り付ける場合には、コンクリートアンカーを使用します。取り付けは、専門業者に相談することをお勧めします。

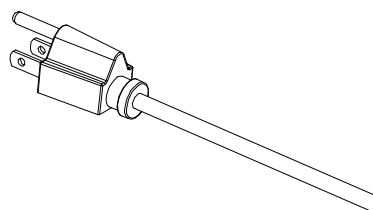
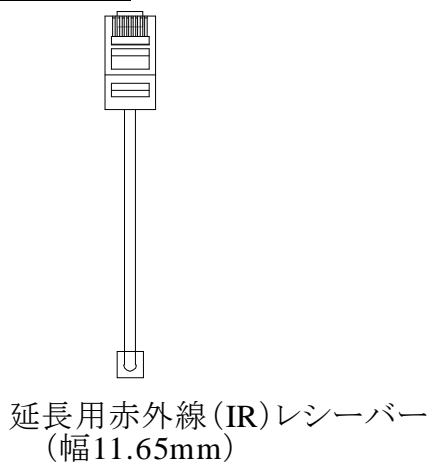
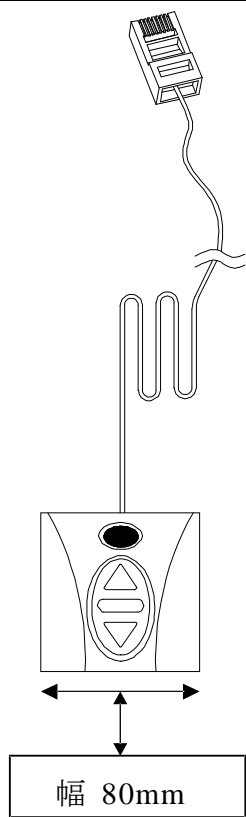


3. 天井または壁に固定されたL字ブラケット(D)へケースを取り付けます。

壁掛け・天吊りでの取り付け例

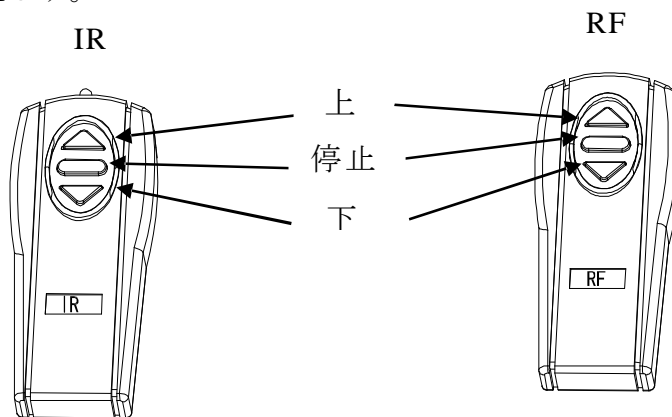


ケーブルおよびリモコン



ケースからコンセントへは3極プラグで接続します。
(長さ1.8m)

赤外線(IR)リモコンは、センサーに向けて使用します。センサーが隠れてしまう場合には、ラジオ周波(RF)リモコンによる操作が可能です。方向ボタンを押すとケースから小さなクリック音が聞こえ、機能していることが確認できます。



赤外線(IR)リモコン
有効距離4.5m 単四電池

ラジオ周波(RF)リモコン
有効距離30m 単四電池

**赤外線リモコンは、赤外線レーザーに向けて操作してください。汎用の学習型IRリモコンを使用することも可能です。学習型リモコンにはIRコードを設定します(FAQを参照ください)。

FAQ

1. Q: スクリーンが動作しません。

A: 以下の点を確認してください。

A) 電源プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。

B) 壁用スイッチでは操作でき、リモコンで操作できない場合、リモコンの乾電池の状態を確認してください。

2. Q: スクリーンの洗浄方法を教えてください。

A: スクリーン素材は中性洗剤を水で薄めた液体で洗浄できます。

3. Q: リモコンに使用する電池のタイプを教えてください。

A: 赤外線 (IR) およびラジオ周波 (RF) リモコンは単四アルカリ乾電池で動作します。

4. Q: 手動でスクリーンを操作することはできますか？

A: 手動での操作はできません。手動で操作すると、モーターによる稼働システムに影響します。

5. Q: 学習型赤外線リモコン装置を使用する場合、どのように設定すればよいですか？コードを教えてください。

A: 当社の使用しているコードはいくつかの汎用リモコンメーカーのデータベースに登録され、テストされています。当社の装置を使用できるかどうかはリモコンメーカーにお問い合わせください。または、以下のコードをリモコンに登録して使用してください。

VMAX、Home、CineTension用のバイナリコード

Up: 1111 0000 0001

Stop: 1111 0000 0010

Down: 1111 0000 0100